

この「しあわせ福祉」は赤い羽根共同募金の配分金により発行されています。

地区福祉連絡会総会・福祉委員委嘱式開催



連絡会総会



福祉委員委嘱



研修会

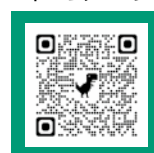
4月～6月にかけて町内7地区にて地区福祉連絡会総会が開催されました。地区福祉連絡会は区長さんや民生児童委員さん、福祉委員さんなど地域の福祉関係者の連携を図り、また活動のレベルアップを目的として活動を行っています。

また総会前には今年度より新たな任期を迎える福祉委員さんの委嘱式も開催しました。令和8年度は331名中269名の福祉委員の皆さまに委嘱状の交付をさせていただきました。福祉委員は各区での福祉活動の推進者として区長さん、民生児童委員さんと協働で進めていただく方々となります。今年度も各区での活動でお世話になりますがよろしくお願いします。

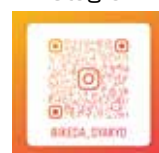
社会福祉法人 池田町社会福祉協議会
〒503-2417 岐阜県揖斐郡池田町本郷1628-2
池田町福祉センター内
☎45・8123 ☎45・9604
E-メール: shakyo@ikedanet.jp
ホームページ: <http://www.gifu-ikeda-syakyo.jp>

公式
情報ツール

社協
ホームページ



社協
Instagram



- 安心見守りネットワーク推進事業の実施 (会費)
 - 安心見守り隊による見守りが必要な方(251人)への訪問活動の実施
 - 命のバトンの配布(171本)
- 認知症サポーター養成講座の開催
(2回、認知症の理解と対応について延べ71人受講)
- 福祉委員会
 - 役員会の開催
- 福祉委員研修会(50人)
- レクリエーション用具貸与事業の実施
 - ふれあいいきいきサロンなど、楽しい時間を過ごしていただくために、レクリエーションなどの用具を整備し貸与事業を行った(57件)
- 子どもの遊び場補修事業の支援(6ヶ所)
(共同募金配分事業)
- 災害救援対策事業の実施 (共同募金配分事業)
 - 大規模災害に備え災害に強い町づくりをめざすために、町の総合防災訓練時に災害救援ボランティアセンター開設訓練を実施
 - ・ぎふシェイクアウトの実施
 - ・命を守るよびかけワークショップ in 池田町(40名程の参加)



5. ボランティアセンター事業

- 福祉出前講座の開催・各種体験セットの貸出
(小・中学校延べ6日間) (会費)
- 福祉協力校(7校)・協力園(1園)の指定
(共同募金配分事業)
- ボランティア連絡協議会との連携、活動支援
- ボランティア保険加入の援助
- ボランティア派遣・養成事業
福祉サポーター研修の実施 (45人参加)

6. 当事者支援関係事業

- バースデイサービス事業の実施(125人)
(共同募金配分事業)
- コミュニティママ子育てサポート事業の実施

- (延べ125人 284.75時間の利用)
- 福祉用具の貸与事業の実施(36件) (会費)
- 通所型介護予防事業(介護予防教室)
 - 足・脳げんき教室(132人参加)、転倒予防のための姿勢美人・美男教室を開催(144人参加)
 - 自由空間(166人参加)
- 家族介護者交流事業の実施(在宅介護者の集い)
(12回、延べ102人参加)
- 日常生活自立支援事業への支援(契約件数4件)
- 障害者支援事業 (共同募金配分事業)
 - 障がい者福祉連合会によるクリスマス会の実施
- 病児・病後児保育事業の実施
(利用者118人、内、多子世帯無料化事業利用42件)
- 居場所づくり事業
 - カランコロンの実施(延べ7人利用)

7. 介護保険関係事業

- 居宅介護支援事業の実施
(延べ457人(要支援延べ220人、要介護延べ237人))
- 訪問介護・介護予防訪問介護事業の実施
 - 訪問介護(利用者5人、延べ444時間)
 - 介護予防(利用者1人、延べ90時間)

8. 生活福祉資金貸付への支援事業

- 貸付に関する相談援助活動の実施(相談38件)
- 生活困窮者世帯に関する相談支援事業
(支援調整会議7回、緊急食料支援 利用者8人、歳末助け合い食料支援(延べ16人))
その他随時配布(延べ36人))

9. 障害福祉サービス事業

(居宅介護・放課後等デイサービス・相談支援事業)

- 障がい者居宅介護事業の実施
(身体1人利用)
- 放課後等デイサービス事業の実施
(利用者延べ242人)
- 相談支援事業
 - 特定相談支援(計画作成件数31件)
 - 障害児相談支援(計画作成件数58件)

10. 障害福祉サービス事業所 ふれ愛の家運営事業

- (ふれ愛の家運営事業の概況)
- 生活介護事業(定員23人)就労継続支援事業B型(定員22人)の多機能型施設。
- 生活介護(利用者23人)
- 就労継続支援B型(利用者14人)
- げんき祭の実施
- ふれ愛ホーム運営事業(利用者12人)

令和7年度 池田町社会福祉協議会 事業報告書・収支決算



町民の皆さまからの会費や町補助金、寄付金、共同募金の配分金などを財源として、関係者の皆さまのご協力により、次のとおり事業を実施することができました。事業報告・収支決算は次の通りです。

【 おもな活動内容 】

1. 法人運営事業

- 理事会(3回)、評議員会(2回)の開催
- 社協会員の拡充
 - 一般会費・法人会費・施設会費の協力依頼
会費総額：7,100,000円
- 戦没者追悼式の開催
参列者：遺族会など 約101人

2. 調査企画事業

- 健康・福祉・エコフェアいけだの開催
(共同募金配分事業)



- 広報啓発事業 (共同募金配分事業)
 - ホームページの作成、「しあわせ福祉」の発行
(年6回・奇数月)
- 町との共催の福祉運動会の開催
(共同募金配分事業(一部))
(402人の参加)

3. 総合相談事業

- 法律・生活・結婚・障がい者・ボランティア・訪問相談などの実施
(相談数：407件)

4. 地域福祉推進事業

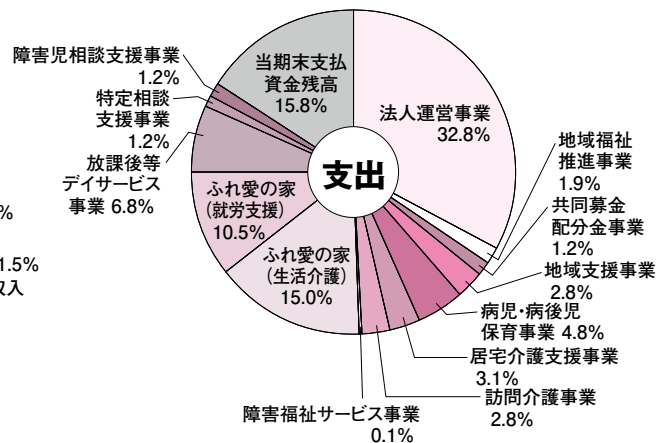
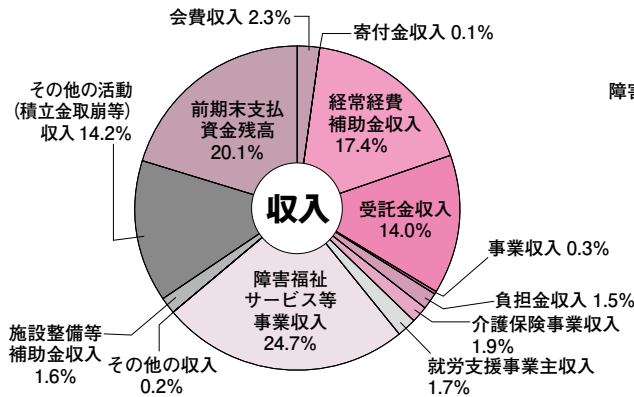
- 地区福祉連絡会
 - 地区福祉懇談会の開催(272人参加) (会費)
 - 各地区福祉連絡会事業の支援 (会費)
- 小地域ネットワーク事業の推進
 - 各区の福祉会活動の支援 (会費)
- 食事サービス事業の実施(ふれあい型)
(会費・共同募金配分事業)
 - 町内6地区の食事サービスボランティア団体の協力のもと、月2回の「まごころ弁当」1月には「おめでとうセット」としておせち料理を取り入れるなどした弁当を調理し見守り活動を兼ねた配食を行った。
 - 食事サービスボランティアの食品衛生研修などを開催
- 各種交流事業
 - 多世代ふれあい事業、ふれあいいきいきサロンの開催支援、地域の集いの場(駅サロン)
(サロン開催延べ238回開催、多世代ふれあい事業25地区、地域の集いの場11回開催)、いきいきサロン研修会の開催



- 地域のささえあいの場づくり支援事業(9福祉会)

令和7年度 池田町社会福祉協議会 決算報告

令和7年4月1日～令和8年3月31日



(単位：円)

(単位：円)

収入	
勘定科目	決算額
会費収入	7,100,000
寄付金収入	79,150
経常経費補助金収入	54,708,200
受託金収入	44,027,800
事業収入	842,325
負担金収入	4,619,808
介護保険事業収入	6,019,390
就労支援事業収入	5,357,670
障害福祉サービス等事業収入	77,458,430
その他の収入	747,683
施設整備等補助金収入	5,148,000
その他の活動収入	44,551,500
前期末支払資金残高	63,072,529
合 計	313,732,485

支出	
事業名	決算額
法人運営事業	102,963,941
地域福祉推進事業	5,848,079
共同募金配分金事業	3,917,000
地域支援事業	8,728,000
病児・病後児保育事業	15,164,898
居宅介護支援事業	9,724,960
訪問介護事業	8,736,708
障害福祉サービス事業	227,951
ふれ愛の家(生活介護事業)	46,909,873
ふれ愛の家(就労継続支援事業)	32,858,900
放課後等デイサービス事業	21,459,616
特定相談支援事業	3,744,843
障害児相談支援事業	3,871,180
当期末支払資金残高	49,576,536
合 計	313,732,485



善意のご寄付
ありがとうございました

◎社会福祉事業へ

衛生用品

匿名様

シルバー人材センター



草刈機操作講習会受講者募集



池田町シルバー人材センターでは、高齢者の生きがいづくりと技術習得を目指した技能講習会を開催します。おおむね60歳以上で健康で働く意欲のある方なら、どなたでも参加していただけます。受講料は無料です。ぜひご参加ください。

講習日: 令和8年8月5日(水) **申し込み締切日:** 令和8年7月27日(月)
時間: 午前10時～正午 **申し込み方法:** 同センターへ本人が直接お申し込みください。(電話申し込み可)
場所: 八幡公民館 **氏名、生年月日、住所、電話番号をお伝えください。**
定員: 20人 **備考:** 草刈機をお持ちの方はご持参ください。

申し込み・問い合わせ **池田町シルバー人材センター** | **直通電話 ☎45・7629**
池田町本郷1628-2 (福祉センター内)

食事サービス「食品衛生研修会」を開催しました

令和8年4月21日に保健センターの管理栄養士高崎様をお迎えし、食事サービスボランティアの方を対象に「知って防ごう！食中毒」と題して食品衛生および低栄養にならないための食事のポイントなどについての研修会を行いました。

35名の調理ボランティアの方々にご参加いただき、食中毒の原因、予防方法、手洗いの大切さ等を詳しく教えていただきました。今後のまごころ弁当作りはもちろん普段の生活にもとても役立つ研修会となりました。



★ボランティアさんを募集しています★

募集内容

●食事サービス調理ボランティア

・町内6地区の食事サービス団体の皆さまと午前中に当番制で、お住いの地区の公民館やゆうこうほっと館でまごころ弁当の調理。

食事サービス事業とは、毎月2回、対象者の方にまごころ弁当を調理しお配りする事業です。

●バースデー配達ボランティア

・毎月1回、担当地区である対象者のご自宅に鉢花をお届けする。

バースデーサービス事業とは、ご自宅で暮らされている、88歳のお誕生日を迎えられた方に、誕生月に鉢花をお届けする事業です。

ふたつの事業とも、赤い羽根共同募金の配分金を利用しています。その他詳細は社会福祉協議会までお問い合わせをお願いします。

社会福祉協議会 ☎45・8123





池田ふれあいサポートセンター

放課後等デイサービス とらいあんぐる

今年も本格的に暑い夏がやってきました。それでも子供たちは、汗をかいて元気に過ごしています。今回は毎月、活動の一つとして行っている“おやつ作り”についてご紹介します。ベビークステラにパンケーキ、餃子の皮で作るピザ、時にはちょっと豪華に?!パフェ作り…など。手慣れた手付きで玉子を割る子や、優しくこぼれないようにまぜられる子。どんな形になっても少々こげても何のその。みんなで作ったおやつは、どれもこれも格別です。さ～て今月は、どんな美味しいおやつが出来上がるのでしょうか…。



申し込み・問い合わせ

池田ふれあいサポートセンター ☎45・3916(平日8:30-17:15)



令和8年度 ふれ愛の家 笑顔あふれる月イチ活動紹介



ふれ愛の家では、利用者さんがそれぞれの「持ち味・個性」を活かし、心から楽しめる活動を月に1度実施しています。

活動内容はいくつかあり、各活動に講師をお招きしています。

好みの楽器を手にとって、リズムに合わせて踊り、歌を歌う【音楽指導】、独創的な世界を描き出す【アール・ブリュット】、そして身体を動かしてリフレッシュする【リズム体操】など様々。

音楽に合わせて自然と笑顔がこぼれる場面や、アート制作で集中した表情、リズムに合わせて自由に踊ったり手拍子したりする姿など、まさに利用者さんが「主役」となって輝く瞬間です。スタッフも一緒に楽しむことで施設内はいつも明るいエネルギーに包まれています。

今後、一人ひとりの個性と可能性を大切に、地域に愛される施設を目指していきます。

問い合わせ 池田町障害福祉サービス事業所 ふれ愛の家 ☎44・1877

しあわせ相談センター

お気軽にお問合せください

場所：福祉センター 相談室
時間：午後1時～4時
お問合せ：池田町福祉センター
☎45・8123

〈7月・8月 相談日程〉

障がい者相談	7月14日(火)
結婚相談	7月12日(日)・8月9日(日) 7月27日(月)・8月24日(月)
生活相談	7月21日(火)・8月18日(火)
法律相談 *利用料1,000円	8月25日(火)

*生活相談・法律相談は前日までの予約制です



1 はじめに

令和7年度の5年生は、総合的な学習の時間において「ふるさと宮地の福祉」をテーマに掲げ、年間を通して探究活動を行いました。特に後期は、自分たちの身近にある地域福祉に焦点を当て、「認知症講座」や「高齢者・車椅子体験」を通して相手の立場に立つことの大切さを学びました。そして、その学びの実践の場として、地域の福祉施設「清流の里みやじ」での計3回にわたる訪問交流活動を行いました。

2 活動事例 宮地小学校5年福祉の実践

(1) 「認知症講座」と「高齢者・車椅子体験」

「認知症講座」では、高齢者の方に話しかけるときには、相手の方を思いやる気持ちを伝えるためにも「必ず相手と目線を合わせること」や「ハキハキと聞き取りやすい声でゆっくり話すこと」の大切さを教えていただきました。

続いて行った「高齢者・車椅子体験」では、乗る側と押す側の両方を体験しました。乗る体験をした児童からは、「段差や方向転換が思っていたより怖かった」という声が上がりました。この気づきから、子どもたちは「安心してもらえるように、必ず『今から動きますね』『段差を通りますよ』と、動作のひとつひとつに優しく声をかけることが大切だ」と、相手の不安に寄り添う重要性を学びました。

(2) 「清流の里みやじ」訪問交流活動(全3回)

事前学習で得た知識をもち、福祉施設「清流の里みやじ」へ訪問交流に行きました。第1回目の訪問では施設内を見学し、利用者の方々が普段どのように過ごさ



ているのかを教えてもらいました。簡単なクイズやゲームなど、シンプルで分かりやすい活動を楽しまれている様子を見学させていただきました。

第2回目の訪問では、自分たちで企画した「クイズ」「あやとり」「福笑い」を行い、最後に全員で歌を披露しました。ここでは講座での学びが生かされ、はきはきとした声で自分の



池田町立 宮地小学校 福祉活動

～福祉協力校の活動紹介～

名前を伝えてから活動を始める姿が見られました。クイズの図が見えづらそうな方に近くでゆっくり伝えたり、あやとりでは高齢者の方と同じ目線になるよう膝立ちになったり、相手の立場に立って考えて活動することができました。一方で、終わった後の振り返りでは、「もっと短い言葉で説明すれば良かった」「一緒に歌える歌にすると良かった」といった、前向きな反省も聞かれました。

その反省を踏まえて第3回目の訪問に臨みました。「あやとり」では、指先をうまく動かせない方に対して優しく手を添えて一緒に毛糸を通すなど、自然な手助けをしていました。さらに「ジェンガ」を一緒に行う際には、「タワーが倒れたときに大きな音が出たら、驚いてしまうかもしれない」と相手の気持ちを想像し、机にタオルを敷いて音を和らげる配慮も見られました。一生懸命に練習を重ねた「浦島太郎」の劇と「あわてんぼうのサンタクロース」の歌も喜んでいただけました。

〈児童・利用者の様子と感想〉

全ての活動が終わった後、利用者の方々からたくさんの温かい言葉をいただきました。中には、嬉しさのあまり涙を流して「ありがとう」と伝えてくださる方もおられました。その姿を見た子どもたちは、自分たちの工夫や思いやりが相手に届いたことを実感し、心の底から「やってよかった」と嬉しそうな表情を浮かべていました。

3 終わりに

福祉学習と施設訪問を経て、子どもたちは「福祉とは、身近な思いやりそのものである」ということを学びました。自分とは違う相手の立場に立ち、不安を想像して寄り添うことの大切さを知った子どもたちが、これからも宮地の町で、誰もが暮らしやすい社会づくりにについて考え続け、進んで行動していけるよう、今後も見守っていきます。

